

付録1		富岡多恵子 著作目録		
年月	ジャンル	タイトル	雑誌・出版社	単行本(題名)
57/08	詩	誕生日	山河 23号	『返禮』
57/10	詩集	『返禮』	山河出版社	
58/02		ニホンのシェクスピア	現代短歌	
58/02	詩	女優	現代詩手帖	
58/03	詩	帰途	現代詩	
58/03	詩	善意	ユリイカ	
58/04		プロフィール	詩学	
58/04	詩	時の宴	詩学	
58/05	詩	ふたつの季節	東京新聞 1日夕刊	
58/05	詩	エピソード	季節	
58/06	詩	エンゲージ・リング	山河 24号	『カリスマ』
58/06	詩	女友達	現代詩手帖	
58/06	詩	会話	産経時事	
58/08	詩	特効薬	現代詩	
58/08		東京印象記	詩学	
58/09		行動と連鎖反応	山河 25号	
58/09	詩	反意語・同意語	山河 25号	『カリスマ』
58/10	詩	旅立ち	心	「拾遺詩篇」
58/10	詩	恋人不在	潮流詩派 15号 30日	
58/11	詩	赤面恐怖症	山河 26号	『カリスマ』
58/11	詩	庭を耕す	山河 26号	『カリスマ』
58/11	詩	ムシのいい話	世代	
59/02	詩	行事	山河 27号	『カリスマ』
59/03	詩	もの好きな話	現代詩	『カリスマ』
59/04	詩劇	祭	山河 28号	
59/04		あとのまつり	円型劇場研究ノート14号	
59/05	詩	よみ人知らず	現代詩	『カリスマ』
59/07		六〇〇人のサービス	現代詩	
59/09	詩集	『カリスマのカシの木』	飯塚書店	
59/12	詩	そこに模様が出来て	現代詩手帖	
60/04		浪速女恋道行	詩学	
60/04		大きな田舎からの手紙	山河 29号	
60/05	詩	小さな翅	現代詩手帖	
60/06		小野十三郎の力学的技法	現代詩手帖 臨時増刊	
60/07	詩	童謡	現代詩	「拾遺詩篇」
60/12		言語の相手	現代詩	『ニホン』
60/12	詩	思いちがい	現代詩手帖	
61/05	詩	ピクニック	詩学	「拾遺詩篇」
61/08	雑絵本	『たまる』	真珠社	「拾遺詩篇」
61/10	詩	『物語の明くる日』	MXT社	
62/01	連載詩	ぼうりんぐ	産経新聞 12日夕刊	
62/01	連載詩	ひるがえる影	産経新聞 19日夕刊	
62/01	連載詩	雪だより	産経新聞 26日夕刊	
62/02	詩	トモダチ	詩学	
62/02	連載詩	たいそう	産経新聞 2日夕刊	
62/02	連載詩	夢をうがつ	産経新聞 9日夕刊	
62/02		わたしのアンソロジー30	現代詩	
62/02	詩	女優	現代詩手帖	「拾遺詩篇」
62/04	詩	はるの日	北海道新聞 2日	「拾遺詩篇」
62/06	詩	草でつくられた狗	詩学	『女友達』
62/06		詩人の室生犀星氏	現代詩手帖	
62/06	雑絵本	『じえずちーぬ』	真珠社	
62/07		コドモの詩と児童詩	詩の手帳	
62/08		無意味への挑戦	現代詩手帖	『ニホン』
62/12	詩	ちいさな恋の唄	響 3号	「拾遺詩篇」
63/01	詩	なみだ	詩学	『女友達』

年月	ジャンル	タイトル	雑誌・出版社	単行本(題名)
63/03	詩	「身上話」など4篇	角川文庫	
63/04	詩	もっとお話して	近代文学	
63/06	詩	女友達	現代詩手帖	『女友達』
63/07		高良留美子と高良留美子の詩	現代詩手帖	
63/09	詩	女タチ	現代詩	『女友達』
63/10		「近代の寓話」	本の手帖	
64/01	詩	あなたの名前はなんですか	詩学	『女友達』
64/01		正月の三ヶ日	浪花のれん	『回転木馬』
64/04	訳詩	ガアトルウド・スタイン詩抄	現代詩手帖	
64/08	詩	静物	現代詩手帖	『女友達』
64/08	詩	挨拶	現代詩	『女友達』
64/08	詩	喋らないでわたしは聴いた	現代詩	『女友達』
64/08	詩	いつものように	現代詩	『女友達』
64/08	詩	去年の秋のいまごろ	現代詩	『女友達』
64/08		女のともだち	政治公論	
64/09	詩	泣いている女	草原	「拾遺詩篇」
64/09		誕生日	早稲田公論	
64/10	詩	誕生日は何曜日だったか	青 1号	『女友達』
64/11	詩集	『女友達』	思潮社	
64/11	詩集	『女友達』	思潮社	
65/02	座談会	わがままのお化けたち	海	
65/02		ことばへのエロティシズム	現代詩手帖	『ニホン』
65/02	詩	空は何色であったか	文芸	「拾遺詩篇」
65/03	詩	動物	朝日新聞 1日 夕刊	「拾遺詩篇」
65/03	詩	ごきげんいかがですか	新日本文学	「拾遺詩篇」
65/06	詩	六月	婦人公論	
65/11	詩	who's afraid of t. s . eliot something の祝祭 - 白石かずこの詩につ いて	無限秋季号	「拾遺詩篇」
66/03			現代詩手帖	
66/09	詩	ニューヨークではなにもすることがない	文芸	『厭芸術反古』
66/09		ニューヨークのニホン人	展望	
66/10	詩	はじめてのうた	現代詩手帖	『厭芸術反古』
66/11	詩	なにか云ってください	南北	「拾遺詩篇」
66/11	詩	七月	南北	
66/11	詩	情熱	南北	
66/11	詩	パラグラフ	南北	「拾遺詩篇」
66/11		アニメーションその破壊のくわだて	日本読書新聞	
66/12	詩	椅子	中央公論	「拾遺詩篇」
66/12	詩	結婚してください	無限冬季号	「拾遺詩篇」
67/01	詩	雪と火	読売新聞 1日	
67/01	詩	春と名前	読売新聞 29日	「拾遺詩篇」
67/01	書評		現代詩手帖	
67/01	連載 エッセ イ	「ニホン・ニホン人」	現代詩手帖 67/1~67/11	『ニホン』
67/01	連載 エッセ イ	ああでもなしこうでもなし	現代詩手帖	『ニホン』
67/01	連載詩	january	装苑	
67/02	詩	それからまもなく	詩学	「拾遺詩篇」
67/02	詩	風景について	京都新聞 3日	「拾遺詩篇」

年月	ジャンル	タイトル	雑誌・出版社	単行本(題名)
67/02	連載 エッセイ	あいするということ	現代詩手帖	『ニホン』
67/02	連載詩	february		
67/03	連載 エッセイ	センチメンタル・ブルースカイ	現代詩手帖	『ニホン』
67/03	連載詩	march	装苑	「未刊詩篇」
67/04	詩	四月の文法	現代詩手帖	「拾遺詩篇」
67/04	詩	では今夜また	詩と批評	「拾遺詩篇」
67/04	詩	see you soon	三田文学	「拾遺詩篇」
67/04	詩	四月	産経新聞 1日 夕刊	
67/04		ことば(「ことば」に傍点)のうつくしさ	言語生活	
67/04		性とワイセツな言葉	映画芸術	
67/04	連載 エッセイ	ひとの死に方	現代詩手帖	『ニホン』
67/04	連載詩	april	装苑	
67/05	連載 エッセイ	女に天才はいない	現代詩手帖	『ニホン』
67/05	連載詩	may	装苑	
67/06	詩	あなたの夏	Bell	
67/06	詩	詩のコトバ	三田新聞 28日	
67/06		浮気へのアプローチ	婦人公論	『厭芸術浮世』
67/06	連載 エッセイ	技術について	現代詩手帖	『ニホン』
67/06	連載詩	june	装苑	
67/07	詩	すべてに時があり	毎日新聞	
67/07		ニホン語は三味線で	言語生活	
67/07		問は何ですか	小説現代	『厭芸術浮世』
67/07		らくがき	現代詩手帖	
67/07	連載 エッセイ	セントラルパークとイノカシラ公園	現代詩手帖	『ニホン』
67/07	連載詩	july	装苑	
67/08	連載 エッセイ	詩の保守性	現代詩手帖	『ニホン』
67/08	連載詩	august	装苑	
67/09		まだ来ぬ俗世の終焉	三田新聞 6日	
67/09	詩集	『富岡多恵子詩集』	思潮社	
67/09		ことば・モノ・空間	思想の科学	『ニホン』
67/09		人間とヒト	言語生活	『厭芸術浮世』
67/09	シナリオ	賤が伏屋	シナリオ	
67/09	訳詩	ガートルード・スタインの詩	詩と批評	
67/09		三十代の思惑	装苑	『厭芸術浮世』
67/09	連載 エッセイ	方言という母国語	現代詩手帖	『ニホン』
67/09	連載詩	september	装苑	「未刊詩篇」
67/10	詩	空にことばが	YAMAHA NEWS 秋号	
67/10	詩	詩の言語と詩の空間	筑摩書房	『ニホン』
67/10		にんげんの手がしたこと	the highschool life(ハイス クールライフ) 1日	『回転木馬』

年月	ジャンル	タイトル	雑誌・出版社	単行本(題名)
67/10	連載 エッセイ	旅のワラジ	現代詩手帖	『ニホン』
67/10	連載詩	october	装苑	
67/11		恋に生きたら楽しからうが	映画芸術	『回転木馬』
67/11	連載 エッセイ	芸術というイレモノ	現代詩手帖	『ニホン』
67/11	詩	「カリスマのカシの木」など7篇	思潮社	
67/11	連載詩	november	装苑	
67/12		本の世界	現代詩手帖	『ニホン』
67/12		日本人	装苑	『回転木馬』
67/12		日本語の詩	筑摩書房	『厭芸術浮世』
67/12		何かスバラシイことが	装苑	『厭芸術浮世』
67/12	連載詩	december	装苑	
68/01		四年ぶりに個展を開いた斎藤義重 - レース編みの論理	美術手帖	『行為と芸術』
68/01	座談会	飯島耕一の作品を囲んで	現代詩手帖	
68/01	連載詩	光の文法	新婦人	
68/01	詩	don't explain	季刊藝術 第4号	『厭芸術反古』
68/02	詩	that's my business	現代詩手帖	『厭芸術反古』
68/02		日本で初めて個展を開いたアラン・ダーカンジェロ - ああハイウェイ	美術手帖	『行為と芸術』
68/02		いれものと中身	花椿 no.212	『厭芸術浮世』
68/02	あとがき	あとがき	思潮社	『ニホン』
68/02	連載詩	比喩	新婦人	
68/03		熱狂と酔狂	芸術生活	『厭芸術浮世』
68/03		コトバとランボー	新潮社	『厭芸術浮世』
68/03		食べること	社会新報	
68/03		贋絵師・横尾忠則	美術手帖	『行為と芸術』
68/03		コルトレーンと義太夫	Jazz批評	『回転木馬』
68/03	連載詩	start here	新婦人	
68/04		住むこと思想	室内	『回転木馬』
68/04	座談会	白石かずこの作品を囲んで	現代詩手帖	
68/04		建築のゲバラ・磯崎新	美術手帖	『行為と芸術』
68/04		アメリカ詩の草の葉	新潮社	『回転木馬』
68/04		詩への未練と愛想づかし	週間読書人 15日	
68/04	連載詩	スマレ草	新婦人	
68/05		唐十郎・なんの怨みぞ	美術手帖	『行為と芸術』
68/05	連載詩	五月	新婦人	
68/06	エッセイ集	『ニホン・ニホン人』	思潮社	
68/06		岡本太郎・シンプリシティ・明快	美術手帖	『行為と芸術』
68/06	連載	アイスル・アイシナイ	産経新聞・京都新聞 6/3~8/5	『厭芸術浮世』
68/06	連載詩	青ノ花	新婦人	
68/07	詩	だからどうなんだというからいくのだと いった	現代詩手帖	『厭芸術反古』
68/07	公開討論会	詩に何ができるか	現代詩手帖	
68/07		散文の快樂を学ぶ	東京新聞 27日	『厭芸術浮世』

年月	ジャンル	タイトル	雑誌・出版社	単行本(題名)
68/07		土方巽・漆黒の素踊り	美術手帖	『行為と芸術』
68/08	座談会	富岡多恵子の作品を囲んで	現代詩手帖	
68/08	訳詩集	わたしのチョウはもう来ない	婦人公論	
68/08		武満徹・超速の求道者	美術手帖	『行為と芸術』
68/09		書きことばと話しことば	思想の科学	『厭芸術浮世』
68/09		理想の男性像	Bell	『厭芸術浮世』
68/09		杉浦康平・知覚の瞑想者	美術手帖	『行為と芸術』
68/09	訳	これがエクスタシー	美術手帖	
68/09		チーズ嫌い	デーリー・ジャパン	『回転木馬』
68/10	詩	夢	アルファード	
68/10		映像とことば	季刊フィルム 創刊号	『厭芸術浮世』
68/10		一柳慧・前衛のアポカリプス	美術手帖	『行為と芸術』
68/11	詩集	『富岡多恵子詩集 現代詩文庫15』	思潮社	
68/11		略歴	思潮社	『富岡多恵子詩集 現代詩』
68/11		環境としての芸術とコトバ	現代詩手帖	『回転木馬』
68/11		マンガ的たのしみ	コム	『回転木馬』
68/11		二川幸夫・建築写真のストイシズム	美術手帖	『行為と芸術』
68/11		サーカス	ほるぶ新聞	『回転木馬』
68/12	詩	<夢の夢こそ>	the highschool life 5日	
68/12		ロマネスク派の優しい男たち	婦人公論	
68/12		粟津潔・ノゾキカラクリの思想	美術手帖	『行為と芸術』
68/?		ミドリを食べる	おとなの絵本 9号	『厭芸術浮世』
68/?	映画シナリオ	心中天網島		
69/01	詩	遠近法	現代詩手帖	『厭芸術反古』
69/01	詩	終りなき世のめでたさ	婦人公論	「未刊詩篇」
69/01	詩	皿のようにひろい世界	社会新報 8日	「未刊詩篇」
69/01		詩の神話にマバタキするな	映画芸術	『回転木馬』
69/01	連載	「流行の人間学」	美容研究 69/1~69/12	『回転木馬』
69/02	詩	あした天気になれ	風景	「未刊詩篇」
69/02	対談	空間の死と言葉の分解	現代詩手帖	
69/02		はやりうたの花	小原流挿花	『厭芸術浮世』
69/02		ローズマリーの赤ちゃん	インテリア	『回転木馬』
69/03	詩	話	本の手帖 81号	「未刊詩篇」
69/04		現代詩とヤマトコトバ	新潮	『厭芸術浮世』
69/05	詩	思いださないで	the highschool life 1日	
69/05	対談	男・女・言葉	早稲田文学	
69/05	訳	知覚とメディアの対話 - 現代芸術にみる客 体としてのエロス	美術手帖	
69/06	詩	鱧の頭	今週の日本 1日	
69/06	小説	ハタチか二十一か二十二の男と三十五か六 か七に見える女	現代詩手帖	『九つ』
69/06		カワイイ女と女のカワイサ	婦人画報	『厭芸術浮世』
69/06		同じ顔の使徒たち	ダイヤモンド・サービス	『回転木馬』
69/07		せりふ芸と腹芸	銀花	『回転木馬』
69/07		書くことと行動すること	婦人公論	『厭芸術浮世』
69/08		孔雀のパイ	母の友	『回転木馬』
69/08		夢にさえ見ぬ土地	小説女性	『回転木馬』

年月	ジャンル	タイトル	雑誌・出版社	単行本(題名)
69/08		涙なしには聞けないけれど	日本読書新聞	『厭芸術浮世』
69/08		澆刺と不潔	潮	『厭芸術浮世』
69/08		シャボン	家庭全科	『回転木馬』
69/08	詩	ああ われらが大地	海	『厭芸術反古』
69/09	詩	みんないっしょに	文藝春秋	
69/09	詩	夢のような夢	レディトリンプ 2号	
69/09		逆手の芸術	日本読書新聞 22日	『厭芸術浮世』
69/09		電話	家庭全科	『回転木馬』
69/10	座談会	男の性の品定め	小説現代	
69/11	詩	without a song	現代詩手帖	『厭芸術反古』
69/11	詩	もうなにもかも	ユリイカ	『未刊詩篇』
69/11		本を見る	東洋インキニュース 43号	『厭芸術浮世』
69/12	詩	わかりやすく	週刊アンボ 4号 29日	
69/12	あとがき	訳者あとがき	筑摩書房	
69/12	訳詩集	『三人の女』	筑摩書房	
69/12		拡散の時代	中央公論	『厭芸術浮世』
69/12		便乗おことわり	月刊CAR	『回転木馬』
69/?		あれやこれやそれや	家庭全科Vol.11 / マイ クック1月	『厭芸術浮世』
69/?		コンピューター結婚	おとなの絵本 10号	『厭芸術浮世』
70/01		「ジブシーの唄をきいた」の「やりきれない男ぶり」	映画評論	『回転木馬』
70/01		酒	家庭全科	『回転木馬』
70/01		人間のつくった時間割	暮しの設計	『回転木馬』
70/1?		わたしの好きな男のタイプ	別冊小説現代 陽春号	『わたし』
70/02		コン・ティキ号探検記	レッツ	『回転木馬』
70/02		自由の隣近所	ドキュメント・女・24歳 ノーベル書房	『厭芸術浮世』
70/02		鏡	家庭全科	『回転木馬』
70/03		女の自立?	レッツ	『回転木馬』
70/03		性愛論	婦人公論	『厭芸術浮世』
70/03		聖者たちの休息		『回転木馬』
70/03		タバコ	家庭全科	『回転木馬』
70/03		買い物	せぞん	『回転木馬』
70/03	まえがき	前書	思潮社	『厭芸術反古』
70/04		注文服世代と既製服世代	週刊言論 3日	
70/04		ことばとの距離	GRAPHICATION	『詩よ歌よ』
70/04		紅と白粉	家庭全科	『回転木馬』
70/05	エッセイ集	『厭芸術浮世草紙』	中央公論社	
70/05	まえがき	ゲイジュツ・ざらい 前書にかえて	中央公論社	『厭芸術浮世』
70/05	詩	ひと恋いぶし	現代詩手帖	『厭芸術反古』
70/05		ああ父離れ	潮	『わたし』
70/05		雨傘	家庭全科	『回転木馬』
70/06	詩	善良なる市民	文學界	
70/06	詩	植物祭	旅	
70/06		人間界のヤミの深さ	朝日新聞 3日	
70/06		だます女と疑う女	フローリア	『わたし』
70/06		櫛		『回転木馬』
70/07	詩集	『厭芸術反古草紙』	思潮社	
70/07		わが大阪	毎日新聞 = 大阪 22日	
70/07		陰あらわるれば髪なりや	えるちか	『わたし』

年月	ジャンル	タイトル	雑誌・出版社	単行本(題名)
70/07	座談会	わが青春のポップス	中央公論	
70/08	小説	人形遣い	芸術生活	『九つ』
70/08		名前をつける	草月	『わたし』
70/08		キンとカネ	太陽	『わたし』
70/08		ヒトのことは	図書	『詩よ歌よ』
70/08		受験勉強と神経痛	高校英語研究	『回転木馬』
70/09	エッセイ	『青春絶望音頭』	文化出版局	
70/09		男のさみしさ 女のやさしさ	婦人画報	『わたし』
70/10		コワイものをこわすアイデア	諸君	『わたし』
70/10		緑の惑星の運命は？	中央公論	
70/10		ニホンの歌謡曲	読売新聞 25日	『詩よ歌よ』
70/11	評論	『行為と芸術 - 十三人の作家』	美術出版社	
70/11		俳優からヒトへ	季刊フィルム 7号	『わたし』
70/12		シベリヤ・サンタフ・長い長い鉄道の旅	花椿	
70/12		70年日本賑景	中央公論	
70/?		かみとhair	ビューティ・ヘア	『わたし』
71/01		「女」という特権意識	えるちか	『わたし』
71/01		女がワジルシを見るとき	芸術生活	『わたし』
71/01		受入れること・拒むこと	早稲田文学	『わたし』
71/01		いつも締められている門	芸術新潮	
71/01	ラジオ脚色	ワインズバーグ・オハイオ	NHK文芸劇場	
71/01		子供の部分	高三コース	『回転木馬』
71/02		ヒトのねむる場所	アンアン	『わたし』
71/02		偏狭で食わず嫌い	週刊読書人 22日	『回転木馬』
71/02		芸術という不渡手形	現代詩手帖	『詩よ歌よ』
71/02		愛の安売り	ブッククラブ情報	『わたし』
71/02		ツケマツゲ	よみうり家庭版	『回転木馬』
71/03	詩	西部劇	朝日ジャーナル 12日	「未刊詩篇」
71/04		ランボーという男	ユリイカ 臨時増刊号	
71/04		アートとはいいい気なもの	週刊読書人 26日	
71/05		性の入口に立ったひとへ	婦人公論	『わたし』
71/05		怨の一字	GRAPHICATION	『わたし』
71/05		神さまの顔	ライトミュージック	
71/05		女の子のすばらしさ	装苑	『わたし』
71/05		篠田正浩の「心中天網島」	キネマ旬報?	『回転木馬』
71/06	小説	丘に向ってひとは並ぶ	中央公論	『丘に向って』
71/06		女にとって年下の男とは	婦人公論	『わたし』
71/06		放浪記	暮しの設計	『回転木馬』
71/06		遠いマチ	新宿プレイマップ	
71/06		花屋	潮	『わたし』
71/06		結婚というひとつのカタチ	家庭画報	『わたし』
71/07	小説	希望という標的	辺境 5号	『丘に向って』
71/07		性革命への疑問	思想の科学	『わたし』
71/07		えげれず歌祭文		『回転木馬』
71/07		旅と時間	東京新聞	
71/07	コラム連載		読売新聞	
71/07		色感について	流行色	『わたし』
71/07		おでんせ	日本国有鉄道?	『回転木馬』
71/08		詩と散文の距離	朝日新聞 21日	『回転木馬』
71/08		スタイン・ファン・クラブ	出版ダイジェスト 1日	『回転木馬』
71/09	小説	イバラの燃える音	海	『丘に向って』
71/09		もうひとつの世界への儀式	さろん	『わたし』
71/10	エッセイ集	『ニホン・ニホン人』	思潮社	
71/10	詩	秋	san-ai 68号	「未刊詩篇」
71/10		女が描く女 - 上村松園	みづゑ	『わたし』
71/11	小説集	『丘に向ってひとは並ぶ』	中央公論社	

年月	ジャンル	タイトル	雑誌・出版社	単行本(題名)
71/11	小説	子供芝居	海	『仕かけ』『少女たち』
71/11	書評		芸術生活	
71/11		歌から物語へ	読売新聞 23日	『回転木馬』
71/11		人形の生死	マリオネット創刊号	『回転木馬』
71/11		ボーと生きること	芸術生活	『わたし』
71/11		秋	マンスリー大林	『わたし』
71/11		ほほえむモナ・リザたち	ミヨシ油脂五十周年記念誌	『回転木馬』
71/12		戦後詩への愛着?	ユリイカ	『詩よ歌よ』
71/12	あとがき	あとがき	大和書房	『わたし』
71/?		情感の小道具、香り	Kimono In No.4	『わたし』
72/01	連載	「冒険タンコちゃん日本をゆく」	GRAPHICATION 72/1~72/12	
72/01		ロッキング・チェアで読もう	産経新聞 27日	『回転木馬』
72/01	解説	恋愛の内側と外側	文藝春秋	『わたし』
72/01		苦い酒の乾杯	山陽新聞 15日	『回転木馬』
72/01	あとがき	受けとる側の論理 あとがきにかえて	草思社	『歌・言葉・日本人』
72/02	エッセイ集	『わたしのオンナ革命』	大和書房	
72/02		アリス・B・トクラスの自伝	海	『回転木馬』
72/02		歌別から笛舞へ	英語研究	『回転木馬』
72/02		観念への出発 - レイモンド・メイスン論	みづゑ	
72/02		モノの意味論 - 高松次郎の近作	草月	
72/02		てまり	ラカム装苑	『回転木馬』
72/03	エッセイ集	『歌・言葉・日本人 - 歌謡曲、ああ歌謡曲』	草思社	
72/03		日本の流行歌(1)	草思社	『歌・言葉・日本人』
72/03		日本の流行歌(2)	草思社	『歌・言葉・日本人』
72/03		近松門左衛門のコトバ	小学館	『回転木馬』
72/03	対談	詩人が小説を書く時	文學界	『虚構』
72/04		日本の歌とか言葉とはいったい何か	週刊読書人 3日	『回転木馬』
72/04	座談会	詩と言葉の問題点	現代詩手帖	
72/04		男女関係という関係	マイファミリー	『回転木馬』
72/05	詩	五月	うえの	『未刊詩篇』
72/05	小説	闇のまわりに灯をつけて	週刊小説 12号	『九つ』『少女たち』
72/05		冬の旅	現代	『回転木馬』
72/05		ボーとついていく	銀座百点	『回転木馬』
72/05		彫像と自己の発掘作業 - ジャン・イブステギ論	みづゑ	
72/05		ああ歌謡曲、歌謡曲	新評	
72/05	対談	男・女・言葉	早稲田文学	
72/06	小説	仕かけのある静物	海	『仕かけ』
72/06		男に飽きないために	婦人公論	
72/06	対談	暇なオンナから革命がはじまる	週刊朝日 2日	
72/06	翻訳	『キューバ・ポスター集』	平凡社	
72/06		詩を読む	東京新聞 2日	『言葉の不幸』
72/06		人形と人像 - エスコパール・マリソール論	みづゑ	
72/06		あほらしい、ゲイジュツやなんて	別冊小説宝石 初夏号	
72/06		はじめての外国旅行	旅	『ボーイ』
72/06		第一母国語	212・0321(現代の視点)	『回転木馬』
72/06		青春は今だけではない	婦人公論	『回転木馬』
72/07	小説	半分忘れた歌	文學界	『仕かけ』
72/07		あらん・どろん賛江	風景	『回転木馬』
72/07	コラム			
72/07	連載	「明日の風」	読売新聞 72/7/1~73/12/23	『女子供』
72/07	対談	うちの夫婦は軟化合宿ですワ	サンデー毎日 23日	

年月	ジャンル	タイトル	雑誌・出版社	単行本(題名)
72/07		美空ひばりの歌	美空ひばり帝劇特別公演パンフレット	『ボーイ』
72/07	対談	男の美しさと上等さについて	婦人公論	
72/07		芸と芸術	朝日新聞 夕刊	『言葉の不幸』
72/07	あとがき	<書く>という行為 - あとがきにかえて -	読売新聞社	『回転木馬』
72/08		詩人のことば	無限 29号	『言葉の不幸』
72/08		エロスのサイエンス	流動	『ボーイ』
72/08		ものの食べ方	潮	『ボーイ』
72/08	対談	芝居と役者	俳優座第111回公演パンフレット	『虚構』
72/09	エッセイ集	『回転木馬はとまらない』	読売新聞社	
72/09	小説	窓の向うに動物が走る	群像	『仕かけ』
72/09		神々の土地にニワトリが啼く	図書	『言葉の不幸』
72/09		浮世の夏に歌謡曲はひびく	月刊百科	『ボーイ』
72/09		旅と旅行	朝日新聞 29日	『ボーイ』
72/09		白粥	公明新聞 10日	『ボーイ』
72/10		つよい歌		
72/10		わたしのアラン	展望	『ボーイ』
72/10		出会い Mさんのこと	海	
72/10	対談書評		毎日新聞 72/10~72/12 隔月	
72/11		思い出せない	ユリイカ	『どこ吹く風』
72/11	対談	エロスは“前戯省略”の古代にもどる!	アサヒ芸能 2日	
72/11		女は男を選べるのか	筑摩書房	
72/11		大阪の寄席	小説新潮	『言葉の不幸』
72/11	対談	愛について	筑摩書房	
72/11		批評としての女の論理	婦人公論	『ボーイ』
72/11		けとばし屋	旅	『ボーイ』
72/11		漁師のセーター	ラカム	『ボーイ』
72/11		『講座おんな3 結婚すべきか - 女は男を選べるか』	筑摩書房	
72/12	小説	恋人たち	文學界	『仕かけ』 『少女たち』
72/12	小説	ヒミコと呼ばれる女	中央公論	『ヒミコ』
72/12		私の映画遍歴	季刊フィルム 13号	
72/12		哲学と、語る言葉を - 選挙にもの申す	毎日新聞 6日	『詩よ歌よ』
72/12		例外の女友たち	日本経済新聞 16日	『ボーイ』
72/12		大阪シシリアン	オール読物	『ボーイ』
72/12	対談	新しいリアリティを求めて	劇 41号	『虚構』
72/12	対談	ああワイセツ大論争	別冊文藝春秋 秋号	
72/?	映画シナリオ	卑弥呼		『ヒミコ』
72?/?	映画シナリオ	札幌オリンピック公式記録映画		
73/01		きょうのつづき	東京新聞 1日	『ボーイ』
73/01		わがヒミコ	現代の眼	『言葉の不幸』
73/01		口語体の芝居	俳優座第114回公演パンフレット	『言葉の不幸』
73/01		もの真似のむずかしさ	展望	『言葉の不幸』
73/01	連載エッセイ	「ボーイフレンド物語」	別冊小説現代 73/1~73/11 隔月	
73/01	連載エッセイ	ああ高校二年生	別冊小説現代	『ボーイ』

年月	ジャンル	タイトル	雑誌・出版社	単行本(題名)
73/02	戯曲	『結婚記念日』	新潮社	
73/02	小説	原始生活	小説サンデー毎日	『九つ』『少女たち』
73/02		ウラミ・ノヴェル	早稲田文学	『言葉の不幸』
73/02		三上寛怨歌集	群像	『ボーイ』
73/02		カワイソー教	毎日新聞 9日	『ボーイ』
73/02	対談	標準語よ、おごるなかれ	暮しの設計	『虚構』
73/02		二十歳	小説新潮	『ボーイ』
73/02		ことばにこそ反乱が起らねば.....	週刊朝日 23日	
73/03		「リンゴ園の少女」[美空ひばり]	朝日ジャーナル 30日	
73/03		芝居のヴァージニティ	新刊ニュース	『言葉の不幸』
73/03	小説	ドン屋桃太郎	新潮	『仕かけ』
73/03	小説	中央公園	すばる 11号	『仕かけ』
73/03	対談	雑草の美学	新婦人	
73/03	座談会	働く意味となまけの価値	婦人公論	
73/03	対談	芝居の周辺	俳優座第115回公演パンフレット	『虚構』
73/03	連載エッセイ	恋のシベリア鉄道	別冊小説現代	『ボーイ』
73/03	連載小説	植物祭	海 73/3~73/12	『植物祭』
73/04	小説集	『仕かけのある静物』	中央公論社	
73/04		日常性の表現	展望	『言葉の不幸』
73/04		先生のお気に入り	GRAPHICATION	『ボーイ』
73/04		歌謡曲における<愛>	平凡社	『どこ吹く風』
73/05	小説	遺産の利子	小説サンデー毎日	『九つ』
73/05	対談	悪趣味のすすめ		
73/05		反イメージ	世界	『言葉の不幸』
73/05		心中マニアック	問題小説	『ボーイ』
73/05		人間を産むことと人間を殺すこと	週刊朝日 4日	『ボーイ』
73/05		ジーパン文化	読売新聞 18日	『ボーイ』
73/05	対談	結婚というものの中味	婦人公論	
73/05	連載エッセイ	美貌への恐怖	別冊小説現代	『ボーイ』
73/05	あとがき	後書	思潮社	『富岡多恵子詩集』全詩集版
73/06		深沢七郎 - 私の中の日本人	波	
73/06		サテン文化人 - 小野十三郎	週刊朝日 1日	
73/06		“無名の人間”で生きる自信	週刊朝日 22日	『ボーイ』
73/06		老人の性的想像力	週刊朝日 29日	『ボーイ』
73/06		どうにでもなれという流儀	暮しの設計	『ボーイ』
73/06		深沢七郎さん	波	『言葉の不幸』
73/07	座談会	野坂文学の真髄	別冊新評 = 野坂昭如の世界	
73/07		ピカソとスタイン	ユリイカ	『言葉の不幸』
73/07		単位制の文化	展望	『言葉の不幸』
73/07	座談会	われわれはこう書く	群像	
73/07		スタインの文体	英語文学世界	『言葉の不幸』
73/07	連載エッセイ	人形こわい	別冊小説現代	『ボーイ』
73/08	小説	ピフテキ	小説サンデー毎日	『九つ』
73/08	解説	ニンゲンの歌とは.....		『詩よ歌よ』

年月	ジャンル	タイトル	雑誌・出版社	単行本(題名)
73/08		わたしのイタセクスアリス(6)	週刊読売 4日	『ボーイ』
73/08		ナツメロと軍歌	読売新聞 18日	『ボーイ』
73/08		方言の表現力	産経新聞 夕刊	『言葉の不幸』
73/09	小説	地蔵和讃仕方咄	群像	『冥途の家族』
73/09		犀星の文章	集英社	『言葉の不幸』
73/09		一種の風俗史	新聞週間資料 5日	『ボーイ』
73/09		月謝を支払って買うコマギレ教養の空しさ	週刊朝日 7日	
73/09	連載 エッセイ	棄てられる側の論理	別冊小説現代	『ボーイ』
73/09	座談会	戦後28年の性	中央公論	
73/09	座談会	討論 危機は魚より米だ	婦人公論	
73/09	あとがき	あとがき	新潮社	『ヒミコ』
73/10	詩集	『富岡多恵子詩集』全詩集版	思潮社	
73/10		ユデ卵とナマ卵	群像	『ボーイ』
73/10		ガッコのセンセ	オール読物	『ボーイ』
73/10		女にとって二度目の男とは	婦人公論	
73/11	小説	『植物祭』	中央公論社	
73/11	小説	希望と絶望	小説サンデー毎日	『九つ』
73/11	対談	事実から虚構へ	現代詩手帖	『虚構』
73/11		カン文化	現代	『ボーイ』
73/11		モノへのあわれ	読売新聞 15日	『ボーイ』
73/11		クニの外へ	婦人と暮し	『ボーイ』
73/11	連載 エッセイ	当世風フル・コース	別冊小説現代	『ボーイ』
73/12		わが処女詩	面白半分	
73/12		女の財布	花椿	『ボーイ』
73/12		哀しいおしゃれ	暮しの設計	『ボーイ』
73/12		本のこと	これくしょん 54-55号	『どこ吹く風』
73/?		自分の子、他人の子、人間の子	婦人と暮し 夏	『ボーイ』
74/01	シナリオ・小説・エッセイ	『ヒミコと呼ばれる女』	新潮社	
74/01	小説	『イバラの燃える音』	吾八プレス	
74/01	対談	ファンなの...わたし	viva	
74/01	連載 エッセイ	都会のお正月	朝日新聞 5日	『ボーイ』
74/01	連載 エッセイ	着るものの基準	朝日新聞 12日	『ボーイ』
74/01	連載 エッセイ	生きるために要るモノ	朝日新聞 19日	『ボーイ』
74/01	連載 エッセイ	テレビの虚像	朝日新聞 26日	『ボーイ』
74/02	小説	冥途の家族	群像	『冥途の家族』
74/02		ボーイフレンド道の極意	婦人公論	『ボーイ』
74/02		タヒチは真夏	読売新聞 6日	『ボーイ』
74/02	連載 エッセイ	犬との縁	朝日新聞 2日	『ボーイ』

年月	ジャンル	タイトル	雑誌・出版社	単行本(題名)
74/02	連載 エッセイ	私のウソ、公のウソ	朝日新聞 9日	『ボーイ』
74/02	連載 エッセイ	女の言葉	朝日新聞 16日	『ボーイ』
74/02	連載 エッセイ	愛と結婚のホンネ	朝日新聞 23日	『ボーイ』
74/03	対談	“危機どき”に大阪文化は効きまっせ	アドバタイジング	
74/03		犬の振り見て	東京新聞 7日	『ボーイ』
74/03	連載 エッセイ	子の心親知らず	朝日新聞 2日	『ボーイ』
74/03	連載 エッセイ	花を贈られる夢	朝日新聞 9日	『ボーイ』
74/03	連載 エッセイ	現代の冥想	朝日新聞 16日	『ボーイ』
74/03	連載 エッセイ	公と私の間	朝日新聞 23日	『ボーイ』
74/03	連載 エッセイ	女の名前	朝日新聞 30日	『ボーイ』
74/03	あとがき	話し合う楽しさの中から あとがきにかえて	草思社	『ひとが生きている間』
74/04	小説	餓鬼の晩餐	文芸展望 5号	『冥途の家族』
74/04	対談	近代読者から現代読者へ	現代詩手帖	『虚構』
74/04		悪趣味礼讃	流行通信	『ボーイ』
74/04		宿替えという旅	旅行読売	『ボーイ』
74/04	対談	卑弥呼はどんな鏡を持っていたのかしら	サンデー毎日 7日	
74/05		「水いらす」について	雄斐閣	
74/05		チ子と八八	海	『ボーイ』
74/05	詩	15篇収録	角川文庫	
74/05		放浪と定着	旅行読売	『ボーイ』
74/05		ことばの音	文藝	『言葉の不幸』
74/05	座談会	妖怪変化が横行する	中央公論	
74/06	小説	極楽通り極楽番地	群像	『冥途の家族』
74/06	小説集	『冥途の家族』	講談社	
74/06		住み方という表現	暮しの設計	『女子供』
74/06	対談	帰りがけの威力	現代詩手帖	『虚構』
74/06	対談	失礼します、歌謡曲	TBS調査情報	
74/06		女の旅	旅行読売	『ボーイ』
74/07	対談集	『ひとが生きている間』	草思社	
74/07	対談	だれと暮すか	草思社	『ひとが生きている間』
74/07		知られたくないお里とは何か	暮しの設計	『女子供』
74/07	コラム 連載	<ファッション>	太陽 74/7~75/6	
74/07		ジェルミとボロンテ	ユリイカ	『どこ吹く風』
74/07		荷物・大陸・時差	Lounge	『どこ吹く風』
74/07	座談会	終着からの性モラル	婦人公論	
74/08	対談	女が自由に生きるとき	サンデー毎日 18日	
74/08		女の義理	暮しの設計	『女子供』
74/08	対談	庶民のうた	現代詩手帖	
74/08		贈る・贈られる	産経新聞 12日	『どこ吹く風』

年月	ジャンル	タイトル	雑誌・出版社	単行本(題名)
74/08	解説			『詩よ歌よ』
74/08	対談	女に革命はできるか	流動	
74/09	小説	壺中庵異聞	文學界	『壺中庵異聞』
74/09		ことばなき世代へ乾杯	中央公論	『女子供』
74/09		おふくろの味はほんとおいしいか	暮しの設計	『女子供』
74/09		アツシを着た日露戦争の勇士	歴史と人物	
74/09	小説	犬が見る風景	文藝	『動物の葬禮』
74/09		二ホン語の摩訶不思議	こずもす	
74/10		スタインの最初の読者	現代詩手帖 臨時増刊 = 瀧口修造	『言葉の不幸』
74/10		女の本音	暮しの設計	『女子供』
74/10	随談	二ホン人の遊び	Ericureau	
74/10	対談	映体と時代 - 映像の現場から	現代詩手帖	『虚構』
74/10		<母の訓>とは何ぞや	文藝春秋デラックス	『女子供』
74/11	小説	決闘	問題小説	『九つ』
74/11	随舌	もうどうでもよしいわ...	面白半分	
74/11		若もの文化の時代	産経新聞 5日	『女子供』
74/11		芸人の芸と生活	暮しの設計	『女子供』
74/11	小説	ハッピー・バースデー	新潮	『動物の葬禮』
74/11		本への供養	図書	
74/11	対談	男と女の心を見つめる	Junon	
74/12	小説	『壺中庵異聞』	文藝春秋	
74/12		虚像の男たち	婦人公論	『女子供』
74/12	対談	子どもがいるからいう何がわかるねん	のびのび	
74/12	対談	社会構造と言葉	現代詩手帖	『虚構』
74/12		冥途の家族	NHKラジオ文芸劇場	
74/12		師走	神奈川文化	『どこ吹く風』
74/12		文はやりたし書く手は持たず	文藝春秋デラックス	
74/12		贈るということ	ふうあい	『女子供』
74/12		3分で見たウォーホル展	芸術新潮	
74/12	映画 ナリオ	桜の森の満開の下		
74/12	あとがき	あとがき	講談社	『ボーイ』
74/ ?		『日本教養全集 9』	角川書店	
75/01	小説	『壺中庵異聞』		
75/01	小説	時間割	群像	『動物の葬禮』
75/01		一種の名訳詩集 - 「スタイン抄」	現代詩手帖	『言葉の不幸』
75/01		わたしの男女平等論	朝日新聞 9日	『女子供』
75/01		文太の魅力	神奈川新聞 4日	
75/01	対談	ハンフリー・ボガードはもうおらへんのや	GRAPHICATION	
75/01	対談	僕の国籍は地球	サンデー毎日 12日	
75/01	小説	流れ者志願	中央公論 新年号	『斑猫』 『少女たち』
75/02	対談	複製時代のデザインと詩	現代詩手帖	『虚構』
75/02	エッセイ集	『ボーイフレンド物語』	講談社	
75/02		映画スター	文藝	『言葉の不幸』
75/02		テレビ世代	読売新聞 夕刊	『言葉の不幸』
75/02	座談会	孤立した女たちの哀しさと強さ	婦人公論	
75/02		「イバラの燃える音」	毎日新聞社	
75/03	対談	女が芸術すること	朝日ジャーナル 21日	
75/03		『女大学』について	別冊太陽	『女子供』
75/03	文庫	『植物祭』	中公文庫	
75/03		平凡な人間行為の中に	京都新聞 26日	

年月	ジャンル	タイトル	雑誌・出版社	単行本(題名)
75/04	小説	なつかしの死の日々	海	『動物の葬禮』
75/04	翻訳	詩と文法	文芸展望 9号	
75/04	解説			『詩よ歌よ』
75/04		わたしの拒否権	オール読物	『どこ吹く風』
75/04		人形の世界	国立劇場第30回文楽公演パンフレット	『言葉の不幸』
75/04		東京流れ者	The東京	『どこ吹く風』
75/05		新しい詩人 - 鈴木志郎康	現代詩手帖	『言葉の不幸』
75/05	小説	動物の葬禮	文學界	『動物の葬禮』
75/05		女教師と母親	のびのび	『女子供』
75/06		コトバにこそ反乱が	週刊朝日	『言葉の不幸』
75/06		映像の表現のクロゴ シナリオ作者の言葉	キネマ旬報	
75/07	対談	「芸」の周辺	俳優座パンフレット	
75/07		コトバの民芸品	言語生活	『言葉の不幸』
75/07	対談	豪華絢爛都大路と桜舞	シナリオ	
75/08	小説	はつむかし	文藝	『動物の葬禮』
75/08		インベーダーの出現	群像	『少女たち』
75/08		その一瞬	風景	
75/08		これはひとつの楽しみです	言語生活	『言葉の不幸』
75/08	対談	満腹しながらこの飢餓感	中央公論	
75/09		一度だけの出会い - 金子光晴	現代詩手帖	
75/09		フィンランドの夏至祭	婦人公論	『女子供』
75/09		鹿の声	朝日新聞 8日	『どこ吹く風』
75/09		金子光晴	文藝	『言葉の不幸』
75/09		目のことばと耳のことば	言語生活	『言葉の不幸』
75/10	文庫	『青春絶望音頭』	角川文庫	
75/10	小説	昨日の少女	文學界	『動物の葬禮』 『少女たち』
75/10	ラジオ 脚本	夕顔の女	NHKラジオ文芸劇場	
75/10		けちんぼ	小説現代	『言葉の不幸』
75/10	あとがき	あとがき	大和書房	『九つ』
75/10	あとがき	恐怖の千人針 あとがきに代えて	中央公論社	『女子供』
75/11	コラム 連載		毎日新聞 日曜版 75/11~ 76/1	
75/11		ホントとワケ	毎日新聞 日曜版	『言葉の不幸』
75/11		難しい挨拶	毎日新聞 日曜版	『言葉の不幸』
75/11		服の中身	毎日新聞 日曜版	『言葉の不幸』
75/11		成人恐怖	毎日新聞 日曜版	『言葉の不幸』
75/11	対談	芸としての歌	現代詩手帖	『虚構』
75/11		イヌと母親	産経新聞 2日	『兎』
75/11		じらす	産経新聞 9日	『兎』
75/11		千人針	産経新聞 16日	『兎』

年月	ジャンル	タイトル	雑誌・出版社	単行本(題名)
75/11		パンタロンの丈	産経新聞 23日	『兎』
75/11		勘定	産経新聞 30日	『兎』
75/12	小説集	『九つの小さな物語』	大和書房	
75/12		立体埋蔵と突出	SD	
75/12		アンディ・ウォーホル	芸術新潮	『言葉の不幸』
75/12		気晴らし	産経新聞 7日	『兎』
75/12		女にとって毛皮とは	産経新聞 14日	『兎』
75/12		ロマンチズム	産経新聞 21日	『兎』
75/12		肩書	産経新聞 28日	『兎』
75/12		発情文化	毎日新聞 日曜版	『言葉の不幸』
75/12		下手の横書き	毎日新聞 日曜版	『言葉の不幸』
75/12		当節のワイセツ	毎日新聞 日曜版	『言葉の不幸』
75/12		西洋日本人	毎日新聞 日曜版	『言葉の不幸』
75/12		ああ、女子大学生……	毎日新聞 日曜版	『言葉の不幸』
75/12	あとがき	あとがき	思潮社	『虚構』
75/?	戯曲	子供の仕事		
75/?	小説	A子のカラス	書き下ろし	『九つ』『少女たち』
76/01	連載小説	「当世凡人伝」	群像 76/1～73/12	『当世凡人伝』
76/01	連載小説	薬のひき出し	群像	『当世凡人伝』
76/01	エッセイ集	『女子供の反乱』	中央公論社	
76/01		下北半島の温泉	太陽	『どこ吹く風』
76/01		年齢	産経新聞 4日	『兎』
76/01		化粧	産経新聞 11日	『兎』
76/01		中年という折り返し点	産経新聞 18日	『兎』
76/01		紅白からの脱出	産経新聞 25日	『兎』
76/01		人間の繁殖力	毎日新聞 日曜版	『言葉の不幸』
76/01		こわい道具	毎日新聞 日曜版	『言葉の不幸』
76/01		言葉の不幸		『言葉の不幸』
76/02	小説集	『動物の葬禮』	文藝春秋	
76/02		現世の家族	思想の科学 臨時増刊	
76/02	連載小説	名前	群像	『当世凡人伝』
76/03	対談	男の可愛さ阿呆らしさ	小説現代	
76/03		ハブニング	文藝	『どこ吹く風』
76/03		今日と明日の芸	野生時代	『どこ吹く風』
76/03		都会の中のヘキ地	すばる 23号	『どこ吹く風』
76/03		或るインタビュー記事	別冊文藝春秋 135号	『詩よ歌よ』
76/03		くらしと道具	読売新聞社	『どこ吹く風』
76/03	エッセイ集	『言葉の不幸』	毎日新聞社	
76/03		私の趣味 編物	週刊現代 25日	
76/03	連載小説	幸福	群像	『当世凡人伝』
76/04		オリンピック狂	婦人公論	
76/04	文庫	『丘に向ってひとは並ぶ』	中公文庫	
76/04	解説			『詩よ歌よ』

年月	ジャンル	タイトル	雑誌・出版社	単行本(題名)
76/04		文字を考える	出版ダイジェスト 21日	『詩よ歌よ』
76/04	映画シナリオ	練習帆船日本丸		
76/04	連載小説	ワンダーランド	群像	『当世凡人伝』 『少女たち』
76/05		詩と詩でないもの	毎日新聞 6日	『詩よ歌よ』
76/05		サクラはこわくない	野生時代	『どこ吹く風』
76/05	連載小説	娘	群像	『当世凡人伝』
76/05		犬につれられて歩く	読売新聞 30日	『どこ吹く風』
76/05		ありがたきしあわせ	面白半分	『どこ吹く風』
76/05	対談集	『虚構への道行き』	思潮社	
76/05	対談	書くこと・生きること	現代詩手帖 臨時増刊	
76/05	小詩集	「春先の風」	現代詩手帖 臨時増刊	
76/05	詩	策謀	現代詩手帖 臨時増刊	
76/05	詩	吠える	現代詩手帖 臨時増刊	
76/05	詩	山のふもと	現代詩手帖 臨時増刊	
76/05	詩	春先の風	現代詩手帖 臨時増刊	
76/05	詩	年齢	現代詩手帖 臨時増刊	
76/05	詩	庭にきて遊べやわれと	現代詩手帖 臨時増刊	
76/05	詩	春の花	現代詩手帖 臨時増刊	
76/05	詩	愚問愚答	現代詩手帖 臨時増刊	
76/05	詩	天気の良い日	現代詩手帖 臨時増刊	
76/05	詩	夜	現代詩手帖 臨時増刊	
76/06	連載小説	立切れ	群像	『当世凡人伝』
76/06	連載エッセイ	キカイの自立性	カメラ毎日	『写真の時代』
76/06		テレビと歌		『どこ吹く風』
76/07	連載小説	魚の骨	群像	『当世凡人伝』
76/07	連載エッセイ	モデルは聖者である - 写される側の表現と論理	カメラ毎日	『写真の時代』
76/07		忘れたハンドバッグ	別冊旅	『どこ吹く風』
76/07	連載エッセイ?	「明日は明日」	読売新聞 76/7 毎日新聞 76/10~76/12	『どこ吹く風』
76/07	文庫	『冥途の家族』	講談社文庫	
76/08		音と音楽	新潮	『詩よ歌よ』
76/08		月例コンテスト流写真	カメラ毎日	『写真の時代』
76/08		演技	文學界	『どこ吹く風』
76/08	連載エッセイ	死について 誕生日と命日	サンデー毎日 76/8/8~ 76/8/22・29	『どこ吹く風』
76/08	連載小説	子供の絵	群像	『当世凡人伝』
76/08	連載エッセイ	月例コンテスト流写真	カメラ毎日	『写真の時代』
76/08	連載エッセイ	「清水」	朝日新聞 8/9~8/14	『どこ吹く風』
76/08	対談	恥かしさについて	早稲田文学	
76/09		時計人間	小説現代	『どこ吹く風』

年月	ジャンル	タイトル	雑誌・出版社	単行本(題名)
76/09	連載小説	富士山に見える家	群像	『当世凡人伝』
76/09	連載エッセイ	闇の犯行 - シリアス・アートのいわれ	カメラ毎日	『写真の時代』
76/10		歌謡曲へ	GRAPHICATION	『詩よ歌よ』
76/10	連載小説	花	群像	『当世凡人伝』
76/10	連載エッセイ	なぜ題をつけるか - 写真の自主性を考える	カメラ毎日	『写真の時代』
76/11		日本語との出会い	岩波書店	『詩よ歌よ』
76/11	連載エッセイ	揶揄の視線 - 「女が見る女」と「男が見る女」	カメラ毎日	『写真の時代』
76/11	連載小説	笑い男	群像	『当世凡人伝』
76/12		鹿と熊の肉	アニマ	『どこ吹く風』
76/12	連載小説	幼友達	群像	『当世凡人伝』
76/12	連載エッセイ	吹けば飛ぶよな想像力 - 航空写真	カメラ毎日	『写真の時代』
77/01	連載		週刊朝日 77/1/7 ~ 77/12/23	『兎』
77/01	小説	多摩川	新潮 新年号	『斑猫』
77/01	連載エッセイ	カメラの高級化 - 使用説明書を読みながら	カメラ毎日	『写真の時代』
77/02	連載エッセイ	不許可写真 - 記録性の逆転劇	カメラ毎日	『写真の時代』
77/02	小説	もうひとつの夢	中央公論	『斑猫』 『少女たち』
77/02	小説集	『丘に向かってひとは並ぶ』	成瀬書房	
77/02		気候と文化	共同通信扱い	『どこ吹く風』
77/02		ひとつき合い	共同通信扱い	『どこ吹く風』
77/02	歌詞	物語のようにふるさは遠い	日本ビクター	
77/03		詩人と小説家	波	『詩よ歌よ』
77/03		詩人の出所	小説現代	『詩よ歌よ』
77/03	連載エッセイ	絵のような写真 - W・エグルストンの世界	カメラ毎日	『写真の時代』
77/04	小説集	『当世凡人伝』	講談社	
77/04	連載エッセイ	戦争写真集 - 石川文洋のベトナムの記録	カメラ毎日	『写真の時代』
77/04		日本のウタへの愛	毎日新聞 21日	『詩よ歌よ』
77/04	小説集	『九つの小さな物語』	大和書房	
77/04	連載エッセイ	「近松浄瑠璃私考」	文芸展望 17号 ~ 21号	『近松浄瑠璃』
77/04	連載エッセイ	ウタとカタリ - 曾根崎心中	文芸展望 17号	『近松浄瑠璃』
77/04		楽譜	文藝	『どこ吹く風』
77/05		家	共同通信扱い 30日	『兎』
77/05		男の友だちのように	筑摩書房	『詩よ歌よ』
77/05		黄金休日	週刊朝日 13日	
77/05		キモノとフク	共同通信扱い	『どこ吹く風』

年月	ジャンル	タイトル	雑誌・出版社	単行本(題名)
77/05		如是我聞	群像	『どこ吹く風』
77/05		歳月	あすあすあす	『どこ吹く風』
77/05	インタビュー	“詩人です”なんて恥かしくていえなかった	週刊小説 27日	
77/05	連載エッセイ	かなしみの壺 - アベドンの「肖像」	カメラ毎日	『写真の時代』
77/06		「わたし」は.....	共同通信扱い	『どこ吹く風』
77/06		ことばの表情	東京新聞	『どこ吹く風』
77/06	連載エッセイ	さまざまな花 - 須田一政「風姿花伝」	カメラ毎日	『写真の時代』
77/07	連載エッセイ	ハダカのと女と女の裸 - E・J・ペロックの写真	カメラ毎日	『写真の時代』
77/07		「目」親と子の間	週刊朝日 8日	
77/07		栄枯盛衰	共同通信扱い	『どこ吹く風』
77/07	連載エッセイ	闇からもれる言葉 - 冥途の飛脚	文芸展望 18号	『近松浄瑠璃』
77/07	連載エッセイ	「二十年」	文藝春秋	『どこ吹く風』
77/08		諸行無常	共同通信扱い 31日	『兎』
77/08		迎えあい	本願寺新報 1日	『どこ吹く風』
77/08	小説	新家族	海	『斑猫』
77/08	連載エッセイ	写真師の写真 - 写真の開祖上野彦馬	カメラ毎日	『写真の時代』
77/08	座談会	「ふるさと」はいまどこにある	朝日ジャーナル	
77/09		女の子の読書	図書	『詩よ歌よ』
77/09		歌謡曲への裏切り	正論	『詩よ歌よ』
77/09	連載エッセイ	写真の日本画 - 前田真三『出合の瞬間』	カメラ毎日	『写真の時代』
77/10	詩集	『新選富岡多恵子詩集 新選現代詩文庫 107』	思潮社	
77/10	連載	「ほんだな」	読売新聞 31日	『詩よ歌よ』
77/10	連載エッセイ	事実への想像力 - 鍵の権三重帷子	文芸展望 19号	『近松浄瑠璃』
77/10		新派あれこれ	国立劇場	『兎』
77/10	連載エッセイ	ひかえ目の美学 - 増田彰久『フランク・ロイド・ライトの世界』	カメラ毎日	『写真の時代』
77/11	連載	「ほんだな」	読売新聞 28日	『詩よ歌よ』
77/11		ヘンコツ	展望	『詩よ歌よ』
77/11	小説	桃色の服	文藝	『斑猫』
77/11		宴のかたち	共同通信扱い 25日	『兎』
77/11		ことばの土地	月刊ことば	『詩よ歌よ』
77/11	連載エッセイ	こわい写真 - レニ・リーフェンシュタールのヌバ族	カメラ毎日	『写真の時代』
77/12		聖と俗の間の山	太陽	『兎』
77/12	連載	「ほんだな」	読売新聞 26日	『詩よ歌よ』
77/12		女と女	共同通信扱い 6日	『兎』
77/12	連載エッセイ	「さまざまなうた」	文學界 77/12~78/11	『さまざまな』

年月	ジャンル	タイトル	雑誌・出版社	単行本(題名)
77/12	連載 エッセイ	詩人のふるさと - 室生犀星	文學界	『さまざま』
77/12		ムツカシイひと	展望	『詩よ歌よ』
77/12	連載 エッセイ	これからの「写真史」 - JPS編『日本現代写真史』を見て	カメラ毎日	『写真の時代』
78/01		素敵なソクラテスたち	小説新潮	『兎』
78/01	連載 エッセイ	手帳と暖簾 - 宮沢賢治	文學界	『さまざま』
78/01		忘れられない本	朝日新聞 9日	『詩よ歌よ』
78/01		ゲンカイなひと	展望	『詩よ歌よ』
78/01		ケントク	現代詩手帖	『詩よ歌よ』
78/01	連載 エッセイ	奮るなかれ現代の聖像製作者	カメラ毎日	『写真の時代』
78/01	連載 エッセイ	みちゆき勝手解釈 - 心中天の網島	文芸展望 20号	『近松浄瑠璃』
78/01	文庫	『ニホン・ニホン人』	集英社文庫	
78/01	あとがき	あとがき	思潮社	『どこ吹く風』
78/02		転居	朝日ジャーナル 10日	『兎』
78/02		「文章読本」について	月刊ことば	『詩よ歌よ』
78/02	連載 エッセイ	心を打った男たち、中助助	日本経済新聞 78/2/20 ~ 78/2/22	『詩よ歌よ』
78/02	連載 エッセイ	青春と時代の憂鬱 - 桑原甲子雄氏に会う	カメラ毎日	『写真の時代』
78/02	連載 エッセイ	海から見た土地 - 小野十三郎	文學界	『さまざま』
78/02	文庫	『回転木馬はとまらない』	中公文庫	
78/02	対談	詩の遠近法	すばる	
78/03		発音辞典	図書	『詩よ歌よ』
78/03		「音楽の根源にあるもの」	週刊ポスト 10日	『詩よ歌よ』
78/03		やさしいボタン	新潮	『詩よ歌よ』
78/03	連載 エッセイ	殺された詩 - 中助助	文學界	『さまざま』
78/03	連載 エッセイ	「顔写真」と無署名性	カメラ毎日	『写真の時代』
78/03		「壺中庵異聞」など3編収録	筑摩書房	
78/04	連載 エッセイ	詠むことと書くこと - 會津八一	文學界	『さまざま』
78/04	連載 エッセイ	庶民の遊び - 自動焦点カメラで写してみた	カメラ毎日	『写真の時代』
78/04	連載 エッセイ	劇としての浄瑠璃 - 女殺油地獄	文芸展望 21号	『近松浄瑠璃』
78/05		漢字、片仮名、平仮名を効果的に使う	潮	『詩よ歌よ』
78/05	小説	雲	文藝	『斑猫』
78/05	連載 エッセイ	詩人のめし - 山之口獏	文學界	『さまざま』
78/05		「思想」の安売り	あすあすあす	『詩よ歌よ』
78/05	連載 エッセイ	写真のためにはなにも存在しない	カメラ毎日	『写真の時代』

年月	ジャンル	タイトル	雑誌・出版社	単行本(題名)
78/05	エッセイ集	『どこ吹く風』	思潮社	
78/05	座談会	われら嫌・嫌煙主義者	文藝春秋	
78/06	連載エッセイ	勘と感覚 - 草野心平	文學界	『さまざま』
78/07	連載エッセイ		東京新聞 78/7/1~78/12/23	『兎』
78/07	連載エッセイ	詩と歌詞の谷 - 佐藤惣之助	文學界	『さまざま』
78/07	小説	坂の上の闇	群像	『狷狗』
78/07	あとがき	あとがき	冬樹社	『詩よ歌よ』
78/07	あとがき	あとがき	筑摩書房	『近松浄瑠璃』
78/08		俳句とわたし	毎日新聞 19日	『兎』
78/08	小説	女の骨	すばる	『斑猫』
78/08	連載エッセイ	詩人の誕生 - 左川ちか	文學界	『さまざま』
78/08	座談会	新文壇句会、夏帯やいささか妻の太りたる	文藝春秋	
78/09	連載エッセイ	歌よりも声が - 原民喜	文學界	『さまざま』
78/09		九月	読売新聞 1日	『兎』
78/09	文庫	『壺中庵異聞』	集英社文庫	
78/10		なじみ嫌い	銀座百点	『兎』
78/10	連載エッセイ	詩的生活 - 尾崎放哉	文學界	『さまざま』
78/10	文庫	『三人の女』	中公文庫	
78/11	小説	十二社の瀧	婦人公論 臨時増刊号	『斑猫』
78/11		篠田正浩さんのこと	毎日新聞 9日	『兎』
78/11	連載エッセイ	小説家の辞世 - 高見順	文學界	『さまざま』
78/11	エッセイ集	『詩よ歌よ、さようなら』	冬樹社	
78/11	あとがき	あとがき	毎日新聞社	『写真の時代』
78/12	連載エッセイ		朝日新聞 78/12/18~78/12/28	『兎』
78/12		アンノン族の京都		『兎』
78/12		荒木経惟「聖少女」によせて	カメラ毎日	『兎』
78/12		漫才の女	婦人公論 臨時増刊号	『はずかい』
78/12	小説	三千世界に梅の花	新潮	『三千世界』
78/?		真昼の朝	暮しの手帖 57号	『兎』
78/?	戯曲	人形姉妹		
78/?	対談	写真は何を表現できるか		『写真の時代』
79/01	評論	『写真の時代』	毎日新聞社	
79/01	評論	『近松浄瑠璃私考』	筑摩書房	
79/01		写真の思想と芸	集英社	『兎』
79/01		新聞を読んで	毎日新聞 22日	『兎』
79/01		劉生絵日記	太陽	『兎』
79/02		民家今昔	産経新聞 9日	『兎』
79/02	あとがき	あとがき	文藝春秋	『さまざま』
79/04		ひまわり	小説新潮	『兎』
79/04	評論	『さまざまなうた - 詩人と詩』	文藝春秋	
79/04	文庫	『厭芸術反古草紙』	中公文庫	

年月	ジャンル	タイトル	雑誌・出版社	単行本(題名)
79/05	小説	芻狗	群像	『芻狗』
79/05	小説	遠い空	海	『遠い空』
79/05	対談	日本語 日本文化 日本の女	朝日ジャーナル 25日	
79/05	あとがき	あとがき	中央公論社	『兎』
79/06	エッセイ集	『兎のさかだち』	中央公論社	
79/06		若い女性の通訳	文藝	『はずかい』
79/07		さまざまなおもしろさ	国立劇場演芸場 8日	『はずかい』
79/07		風俗の内側	文學界	『はずかい』
79/08		不浄の気配がたちこめて...	婦人公論	
79/08	小説	話すことはない	海	『遠い空』
79/08	小説	斑猫	文藝	『斑猫』
79/09	座談会	新涼文壇句会 亡き妻をただそのままに秋の蚊帳	文藝春秋	
79/09		日本語の特質を追って 多田道太郎「日本語の作法」	潮	
79/10	小説集	『斑猫』	河出書房新社	
79/10	訳詩集	『SEE YOU SOON』	シカゴ・レヴュー・プレス	
79/11		「身上話」など詩7篇収録	集英社	
79/11		私の読書術	朝日新聞 25日	『はずかい』
79/11		気まぐれ手あみを楽しむ	主婦の友	
79/12		漫才の女	婦人公論 臨時増刊	『はずかい』
80/01	小説	峠のわが家	新潮	『遠い空』
80/01		申年の梅	読売新聞 3日	『はずかい』
80/01		親の振り見て	東京新聞 8日	『はずかい』
80/01	文庫	『仕かけのある静物』	中公文庫	
80/03	小説	末黒野	海	『遠い空』
80/03		おんな・おとこ	朝日ジャーナル 臨時増刊 25日	
80/02		小説への興味	新潮	『はずかい』
80/04		女の遊び	平凡社	『はずかい』
80/04	共著	『平凡社カルチャー today 遊ぶ』	平凡社	
80/06		この世が花	新潮	『三千世界』
80/06	あとがき	附記	新潮社	『三千世界』
80/07		小説の運命	読売新聞 5日	『はずかい』
80/07		すでに望郷	婦人公論	『はずかい』
80/08	エッセイ	戦後その精神風景 からだ	朝日新聞 12日	『はずかい』
80/08	文庫	『当世凡人伝』	講談社文庫	
80/09	小説	犬の耳	新潮	『遠い空』
80/09	小説集	『芻狗』	講談社	
80/09	小説集	『三千世界に梅の花』	新潮社	
80/09	連載小説	「砂に風」	文學界 80/9~81/7	『砂に風』
80/09	あとがき	あとがき	読売新聞社	『少女たち』
80/10		漫才	群像	『はずかい』
80/11	エッセイ集	『わたしのオンナ革命』	大和書房	
80/11		漫才ブーム	毎日新聞 1日	『はずかい』
80/11	小説	女道楽	作品	『遠い空』
80/11	解説	怠惰の思想	角川文庫	『矩形感覚』
80/11		ほんの著者と「三千世界に梅の花」	サンデー毎日 2日	
80/11		「三千世界に梅の花」に想う	50冊の本	『はずかい』
80/11		他人の言葉と自分の言葉	文学	『はずかい』
80/?	小説	少女たちの桜通り	書き下ろし	『少女たち』
80/11	小説集	『少女たちの桜通り - 昭和世代女流短編集 5』	読売新聞社	
80/12		相手自慢	文藝春秋	
81/01	小説	二十歳	海	『遠い空』
81/01	文庫	『女子供の反乱』	中公文庫	
81/02	戯曲集	『間の山殺し』	作品社	
81/02		「動物の葬禮」	立風書房	

年月	ジャンル	タイトル	雑誌・出版社	単行本(題名)
81/03	新聞小説	「砂時計のように」	東京新聞 夕刊 3/2~8/27	『砂時計の』
81/04	連載エッセイ	「口舌冗語」	現代詩手帖 81/4~81/11	
81/04	連載エッセイ	詩人の恥かしさ	現代詩手帖	
81/05	連載エッセイ	玄人と素人	現代詩手帖	
81/06	連載エッセイ	「現代詩」のカタチ	現代詩手帖	
81/06	あとがき	あとがき	日本ブリタニカ	『「英会話」私情』
81/07	連載エッセイ	時代の韻律	現代詩手帖	
81/08	連載エッセイ	芸談の虚実	現代詩手帖	
81/09	エッセイ	『「英会話」私情』	日本ブリタニカ	
81/09		「英会話」とわたし	日本ブリタニカ	『「英会話」私情』
81/09		アロハシャツの冬景色	中央公論	『はずかい』
81/10	小説	『砂に風』	文藝春秋	
81/10	小説	『砂時計のように』	中央公論社	
81/10	連載エッセイ	その時の年齢	現代詩手帖	
81/11	連載エッセイ	外国語幻想	現代詩手帖	
81/12		ユムラ贗江	イラストレーション	『はずかい』
81/?	訳詩	詩7篇収録	ANCHOR PRESS	
81/?	訳	「富士山に見える家」「娘」		
82/01	小説	野施行	海燕	『遠い空』
82/01	小説	弱肉	新潮	『遠い空』
82/01	文庫	『詩よ歌よ、さようなら』	集英社文庫	
82/02		詩人の墓	「日本発見」 32号 暁図書	『はずかい』
82/2?		言葉になにかが付着する	海燕	『はずかい』
82/03		生きものの気配	朝日新聞 夕刊 23日	『こういう時代の』 『はずかい』
82/03		ハワイで聞いた言葉	東京新聞 9日	『はずかい』
82/04	連載エッセイ	「近松の浄瑠璃」	読売新聞 4/20~4/23	『はずかい』
82/05		自註のおもしろさ	中央公論社	『はずかい』
82/05		ハワイで見たテレビ	群像	『はずかい』
82/06		恐怖の善意	文藝	『はずかい』
82/06		泳ぐ	新潮	『はずかい』
82/07		世間のなかの「小説」	岩波書店	『はずかい』
82/07		詩人の死	現代詩手帖	
82/07	小説集	『遠い空』	中央公論社	
82/08		共有幻想	婦人公論	『はずかい』
82/08	文庫	『兎のさかだち』	中公文庫	
82/08	あとがき	あとがき	筑摩書房	『室生犀星』
82/09		詩人の名前	日本経済新聞 5日	『はずかい』
82/10	文庫	『斑猫』	河出文庫	
82/10		犯意の表明	河出文庫	文庫『斑猫』

年月	ジャンル	タイトル	雑誌・出版社	単行本(題名)
82/11		悪女と女の悪	太陽	『矩形感覚』
82/12	評論	『近代日本詩人選11室生犀星』	筑摩書房	
82/12		詩から小説へ - 室生犀星	筑摩書房	『室生犀星』
83/01	連載評論	「藤の衣に麻の衾」	婦人公論 83/1~83/12	
83/01	連載評論	性の非日常性	婦人公論	『藤の衣』
83/1?		言葉になにかが付着する	海燕	『矩形感覚』
83/01		元気な詩人	筑摩書房	『はずかい』
83/01		水泳・テニス・オートバイ	ミセス	『はずかい』
83/01		「静物/空は何色であったか」	平凡社	
83/02		日常の生と性	群像	『はずかい』
83/03	連載評論	女の競合	婦人公論	『藤の衣』
83/04	連載評論	「主婦」解体	婦人公論	『藤の衣』
83/05	小説	波うつ土地	群像	『波うつ土地』
83/05	連載評論	母親からの解放	婦人公論	『藤の衣』
83/06		「食う」というかなしさ	岩波書店	『はずかい』
83/06	小説	『波うつ土地』	講談社	
83/08		孝夫の伊右衛門	群像	『こういう時代の』
83/08	あとがき	あとがき	中央公論社	『はずかい』
83/09	連載評論	からだの戦略	婦人公論	『藤の衣』
83/09		物語るひとの狂気	群像	『こういう時代の』
83/09	小説	松拍	文學界	『とりかこむ』
83/09	連載エッセイ	「うき世かるた」	毎日新聞 日曜版 83/9/4~84/8/19	『うき世かるた』
83/09	文庫	『「英会話」私情』	集英社文庫	
82/08	エッセイ集	『はずかいの空』	中央公論社	
83/09	鼎談	意思疎通に時間がかかる夫婦のような関係	朝日ジャーナル	
83/10	対談	今昔芝居談義	群像	
83/11	文庫	『わたしのオンナ革命』	大和書房 [女性論]文庫	
83/11	あとがき	文庫版のためのあとがき	大和書房 [女性論]文庫	文庫『わたしのオンナ革命』
83/12	文庫	『ボーイフレンド物語』	講談社文庫	
83/?	訳詩	詩3篇収録	Macmillan	
84/01		踏みこむ	海	『こういう時代の』
84/01	対談	自覚的喝采のすすめ	朝日ジャーナル	
84/01	文庫	『さまざまなうた』	文春文庫	
84/03	あとがき	あとがき	中央公論社	『藤の衣』
84/04	解説	『花嫁のアメリカ』	講談社文庫	『矩形感覚』
84/04	文庫	『砂に風』	文春文庫	
84/05		少女という女	白夜書房	『矩形感覚』
84/05	評論	『藤の衣に麻の衾』	中央公論社	
84/07		子供の敗戦体験	朝日新聞 夕刊 12日	『こういう時代の』
84/07		スタインへの現代的共感	毎日新聞 夕刊 3日	『こういう時代の』
84/07		レクイエム	現代詩手帖 臨時増刊	
84/07	対談	私は女でもあるし男でもある	現代詩手帖	
84/07	あとがき	あとがき	草思社	『大衆論』

年月	ジャンル	タイトル	雑誌・出版社	単行本(題名)
84/07	対談集	『大衆論』	草思社	
84/08	解説	文章の常識	講談社学術文庫	『矩形感覚』
84/08	小説	水獣	新潮	『水獣』
84/09		男にとつての結婚	世界	『こういう時代の』
84/09	座談会	性にみる「夫たちの思秋期」	中央公論	
84/09	連載 エッセイ	「表現の風景」	群像 84/9～85/6	
84/09	連載 エッセイ	呪術と複製	群像	『表現の風景』
84/10	連載 エッセイ	私生活と私小説	群像	『表現の風景』
84/11	小説	噴出する水	文藝	『とりかこむ』
84/11	連載 エッセイ	ブンガク「岩手の食事」	群像	『表現の風景』
84/12	連載 エッセイ	対話と独裁と	群像	『表現の風景』
84/12	あとがき	あとがき	毎日新聞社	『うき世かるた』
84/12	エッセイ集	『うき世かるた』	毎日新聞社	
85/01		大衆社会の知的タレント	朝日新聞 4日	『こういう時代の』
85/01	小説	森	海燕	『とりかこむ』
85/01	連載 エッセイ	「ひとは魔術師」	婦人画報 85/1～86/3	
85/01	連載 エッセイ	小説の変容	群像	『表現の風景』
85/01	連載 エッセイ	幕の向こうに	婦人画報	『ひとは魔術師』
85/02	連載 エッセイ	女の表現	群像	『表現の風景』
85/02	連載 エッセイ	地べたの芸人たち	婦人画報	『ひとは魔術師』
85/02	解説	性の観念小説	岩波文庫	『矩形感覚』
85/03	連載 エッセイ	「溝跨ぎ」回想	群像	『表現の風景』
85/03	連載 エッセイ	歌う人生	婦人画報	『ひとは魔術師』
85/03	文庫	『砂時計のように』	中公文庫	
85/04	連載 エッセイ	キッチュの力	群像	『表現の風景』
85/04	連載 エッセイ	孝夫、玉三郎	婦人画報	『ひとは魔術師』
85/05	対談	二人の貴公子に愛された「浮舟」の困惑	SOPHIA	
85/05	連載 エッセイ	敗北した子供の物語	群像	『表現の風景』

年月	ジャンル	タイトル	雑誌・出版社	単行本(題名)
85/05	連載 エッセイ	ひとが奇蹟を	婦人画報	『ひととは魔術師』
85/06	連載 エッセイ	虚構と楽屋	群像	『表現の風景』
85/06	連載 エッセイ	「科学」のお祭り	婦人画報	『ひととは魔術師』
85/07	連載 エッセイ	救いとしての芸	婦人画報	『ひととは魔術師』
85/08	連載 エッセイ	新しい皮袋	婦人画報	『ひととは魔術師』
85/08	対談	言葉、そして文学へ	群像	
85/09	連載 エッセイ	闇のなかの影	婦人画報	『ひととは魔術師』
85/09	エッセイ集	『表現の風景』	講談社	
85/10	連載 エッセイ	さみしい動物	婦人画報	『ひととは魔術師』
85/10		犬の夏	海燕	『矩形感覚』
85/10	討議	日本語の可能性としての抒情 詩人・犀星の本質	思潮社	
85/10		代表詩100選	思潮社	
85/11		脱強姦へ	波	『こういう時代の』
85/11	連載 エッセイ	スポーツと芸と	婦人画報	『ひととは魔術師』
85/11	小説	『水獣』	新潮社	
85/12	対談	事件'85を読む 大阪イチビリが跋扈した	中央公論	
85/12	座談会	男が変わるとき	新潮	
85/12	連載 エッセイ	空間演技	婦人画報	『ひととは魔術師』
85/12	文庫	『遠い空』	中公文庫	
85/?	訳	「冥途の家族」	Gal rev	
86/01	連載 エッセイ	ご静粛に!	婦人画報	『ひととは魔術師』
86/02	連載 エッセイ	衛生的音楽劇	婦人画報	『ひととは魔術師』
86/03	連載 エッセイ	都のパフォーマンス	婦人画報	『ひととは魔術師』
86/04	座談会	東京湾上に架ける風流	東京人	
86/05	あとがき	あとがき	毎日新聞社	『ひととは魔術師』
86/06		猫街道	暮しの手帖	
86/06	対談	Decording Culture 「いじめ」の現象学	へるめす	
86/06	エッセイ集	『ひととは魔術師』	毎日新聞社	
86/06	共著	『嵐が丘ふたり旅』	文藝春秋	
86/07		「漫才作者」の誕生	筑摩書房	『漫才作者』
86/07	評論	『漫才作者 秋田賞』	筑摩書房	
86/08		ビジネス社会の女性	朝日新聞 夕刊 8日	『こういう時代の』
86/08	莓	「波うつ土地」	サムシンガク	

年月	ジャンル	タイトル	雑誌・出版社	単行本(題名)
86/10	古典現代語訳	『富岡多恵子の好色五人女』	集英社	
86/11		脚色の限度		『こういう時代の』
86/11	対談	時代の気分を語る 若者たちの大神4 富岡多恵子	朝日ジャーナル 28日	
87/01		「カルト」さまざま	群像	『こういう時代の』
87/01	小説	運否天賦	海燕	『とりかこむ』
87/05		舞う記憶	国立劇場第五十二回 舞踏	『こういう時代の』
87/05	連載書評		毎日新聞 87/5/18～89/5/22	『矩形感覚』
87/06	小説	雪の仏の物語	中央公論 文芸特集	『雪の仏の物語』
87/07	評論	『西鶴のかたり』	岩波書店	
87/07		「うた」の力 - 釋迢空	岩波書店	『西鶴のかたり』
87/07		ナンバ	岩波書店	『西鶴のかたり』
87/07		ひそかに手を	おおさかの街	『矩形感覚』
87/08		或る思い出	群像	『矩形感覚』
87/08	対談	追悼 森茉莉	群像	
87/08	小説	とりかこむ液体	文學界	『とりかこむ』
87/10		ミッシェル・クローの墓	新潮	『こういう時代の』
87/10		「名物」としての詩人と作家	太陽	『矩形感覚』
87/10		名物にいたる道	太陽	
87/11	文庫	『うき世かるた』	集英社文庫	
87/12		娘と父	編集工房ノア	『矩形感覚』
87/?	連載書評	実篤解説	毎日新聞	『矩形感覚』
87/?	連載書評	複合文化のしたたかさ	毎日新聞	『矩形感覚』
87/?	連載書評	『老いの様式』	毎日新聞	『矩形感覚』
87/?	連載書評	『女興行師 吉本せい』	毎日新聞	『矩形感覚』
87/?	連載書評	小津安二郎の批評	毎日新聞	『矩形感覚』
87/?	訳	「結婚」収録	Iudicium Verlag	
87/?	訳詩	詩3篇収録	湖南人民出版社	
88/01	連載小説	「逆髪」	群像 88/1～88/9	『逆髪』
88/01	小説	『白光』	新潮社	
88/01		カジュアル家族の時代と文学	朝日新聞 1日	『こういう時代の』
88/01	連載評論	<文芸時評>	朝日新聞 88/1～88/12	
88/01	連載評論	「小説」のカタチはどうなるか	朝日新聞 夕刊 25・26日	『こういう時代の』
88/02		「冥途の家族」等9編収録	小学館	
88/02		「秋田實」ちがい	ちくま	
88/02	連載評論	有名人 = ブランド化の時代	朝日新聞 夕刊 24・25日	『こういう時代の』
88/03	連載評論	死語となる言葉	朝日新聞 夕刊 28・29日	『こういう時代の』
88/03	対談	文芸批評の座標軸 小説の内と外	中央公論 文芸特集	
88/04	連載評論	短編アンソロジーの流行	朝日新聞 夕刊 25・26日	『こういう時代の』
88/04	対談	批評はいかにあるべきか	文藝	
88/05		「子の来歴」宇野浩二	群像	

年月	ジャンル	タイトル	雑誌・出版社	単行本(題名)
88/05	小説	横たわる川	新潮	『とりかこむ』
88/05	連載評論	詩歌 - 呪術的な「実用」の喪失	朝日新聞 夕刊 25・26日	『こういう時代の』
88/06	連載評論	小説言語の「内輪」化	朝日新聞 夕刊 27・28日	『こういう時代の』
88/07	連載評論	小説自体が見せるおもしろさ	朝日新聞 夕刊 25・26日	『こういう時代の』
88/07		著者から読者へ 口上	講談社文芸文庫	文庫『波うつ土地・芻狗』
88/07	文庫	『波うつ土地・芻狗』	講談社文芸文庫	
88/08	連載評論	真面目の旗色が悪い	朝日新聞 夕刊 29・30日	『こういう時代の』
88/09	連載評論	小説に出てくる男と女の変貌	朝日新聞 夕刊 26・27日	『こういう時代の』
88/09	あとがき	あとがき	学藝書林	『伝統芸術とは』
88/09	訳	「なにも話すことはない」収録		
88/10	連載評論	母語と自国語と外国語のきしみ	朝日新聞 夕刊 24・25日	『こういう時代の』
88/10	文庫	『近松浄瑠璃私考』	ちくま文庫	
88/11	連載評論	新人賞の周辺	朝日新聞 夕刊 28・29日	『こういう時代の』
88/11	対談	『伝統芸術とは何なのか - 批評と創造のための対話』	学藝書林	
88/11	対談	音づかい - 対談・武智鉄二	学藝書林	『伝統芸術とは』
88/12	連載評論	文学という「なまぬるい抵抗」	朝日新聞 夕刊 21・22日	『こういう時代の』
88/12		政岡の本心	国立劇場 十二月歌舞伎公演	『こういう時代の』
88/?	連載書評	幻の芸談	毎日新聞	『矩形感覚』
88/?	連載書評	『川上音二郎』	毎日新聞	『矩形感覚』
88/?	連載書評	最後のシューシャン・ボーイ	毎日新聞	『矩形感覚』
88/?	連載書評	『韓国の食』	毎日新聞	『矩形感覚』
89/02	対談	80年代の文学空間は < 聖子ブランド > 村上春樹・吉本ばななと消費社会の気分	朝日ジャーナル 3日	
89/03	あとがき	あとがき	筑摩書房	『こういう時代の』
89/04	エッセイ集	『こういう時代の小説』	筑摩書房	
89/05	対談	作家のフェティッシュについて	文学界	
89/06		文芸時評	新潮	『矩形感覚』
89/06		美空ひばり追悼	毎日新聞 26日	『矩形感覚』
89/07		子供の声・子役の声	海燕	『矩形感覚』
89/09	文庫	『表現の風景』	講談社文芸文庫	
89/09		著者から読者へ 表現という意志	講談社文芸文庫	文庫『表現の風景』
89/11	連載エッセイ	「私の読書日記」	朝日ジャーナル 11/17～12/1	『矩形感覚』
89/11	連載エッセイ	写真撮りたいなあ	朝日ジャーナル 17日	『矩形感覚』
89/11	小説集	『とりかこむ液体』	筑摩書房	
89/12	連載エッセイ	中勘助の「幼い恋人」	朝日ジャーナル 1日	『矩形感覚』
89/?	連載書評	女義太夫の一世紀	毎日新聞	『矩形感覚』

年月	ジャンル	タイトル	雑誌・出版社	単行本(題名)
89/?	連載書評	『英語物語』	毎日新聞	『矩形感覚』
89/?	訳	「結婚」収録	Deutscher Taschenbuch Verlag	
90/01		「地元」のひとつ	中央公論	『矩形感覚』
90/02	評論	『とはずがたり』	講談社	
90/02		終わりは明るい	中央公論	『矩形感覚』
90/02	小説集	『新家族』	学芸書林	
90/03	小説	『逆髪』	講談社	
90/04	往復書簡	性別という神話	朝日新聞 24・26日	『矩形感覚』
90/07		樹木の底	東京新聞 28日	『矩形感覚』
90/08		英語に怨みはかずかずござる	思想の科学	
90/10	対談	『「かたり」の地形 大阪詩の原風景』	作品社	
90/11	対談	ジェンダーと文学表現	群像	
90/11	往復書簡	老前と老後	朝日新聞 11/29・12/13	『矩形感覚』
90/11	連載エッセイ	「大阪センチメンタルジャーニー」	産経新聞 90/11/1～91/10/31	
90/12		デザインとスタインと賞状と	ちくま	『矩形感覚』
90/12		イスタンブール	太陽	『矩形感覚』
90/12		ふるさと即ち危険	文学界	『矩形感覚』
91/01		脱「女ぎらい」の文化	読売新聞 7日	『矩形感覚』
91/05		カップルの光と影	芸術新潮	『矩形感覚』
91/05	対談	女と表現の岐路 この30年を振り返って	学陽書房	
91/06	連載エッセイ	大阪センチメンタルジャーニー抄	産経新聞 6/6 7/25 8/22 10/31	『大阪』
91/07		「読まれる」写真		『矩形感覚』
91/08	対談	漫才とナショナリズム	すばる	
91/08	評論	『写真の時代』筑摩叢書355	筑摩書房	
91/09	小説	三月三日	中央公論 文芸特集	『雪の仏の物語』
91/10	小説	『水上庭園』	岩波書店	
91/11		『伝統と断絶』(私の新古典)	毎日新聞 18日	『矩形感覚』
91/12		旧著再読(芻狗)	朝日新聞 1日	『矩形感覚』
91/12	往復書簡	カマキリの斧ではありませんが	群像	『矩形感覚』
92/01	小説	小説の朗読	海燕	『矩形感覚』
92/01	対談集	『男流文学論』	筑摩書房	
92/01	あとがき	批評のアンドロギュヌスへ	筑摩書房	『男流文学論』
92/01		三島由紀夫の結婚	筑摩書房	『男流文学論』
92/01	小説	金色の果実が。	新潮	『雪の仏の物語』
92/03	インタビュー・書評	上野千鶴子・小倉千加子・富岡多恵子『男流文学論』	クロワッサン 25日	
92/06		犬の死(友人への手紙)		『矩形感覚』
92/06	小説	花の風車	中央公論 文芸特集	『雪の仏の物語』
92/06	小説集	『雪の仏の物語』	中央公論社	
92/07	座談会	『男流文学論』の書評を総点検する	中央公論	
92/08		老いと病いのちがい	朝日新聞 20日	『矩形感覚』
92/08		上方と歌舞伎	国立劇場	『矩形感覚』
92/08	座談会	どこかに声のなごりを聞きたい人間の欲望	潮	
92/09	古典現代語訳	『近松名作集』少年少女古典文学館18	講談社	
92/10	対談	食卓	クロワッサン	
92/10	共訳	『地理と戯曲抄』	書肆山田	

年月	ジャンル	タイトル	雑誌・出版社	単行本(題名)
92/?	訳詩	詩15篇	ヒマラヤ・ライブラリー	
93/01		姉と弟の物語	国立能楽堂 113号	『矩形感覚』
93/01		冬の雑木林	東奥日報(共同通信扱い) 27日	『矩形感覚』
93/02	対談	書き言葉を超えて	文學界	
93/03	対談	友愛論 - 夏目漱石・中勘助・中上健次	文學界	
93/04		川岸の煙(友人への手紙)		『矩形感覚』
93/05	対談	自分を翻訳する文学	群像	
93/06		文学賞と権威	朝日新聞 2日	『矩形感覚』
93/06		最後に嫌われた理由	筑摩書房	『矩形感覚』
93/06	文庫	『当世凡人伝』	講談社文芸文庫	
93/07	あとがき	後記	朝日新聞社	『矩形感覚』
93/08		カッコーを見た日	中央公論	
93/09	あとがき	後記	創元社	『中勘助の恋』
93/11	評論	『中勘助の恋』	創元社	
93/11		漱石と勘助の文学 - 『銀の匙』の評価をめぐって	創元社	『中勘助の恋』
93/12	対談	仮死から生まれるもの	中央公論 文芸特集	
93/12	エッセイ集	『矩形(くけい)感覚』	朝日新聞社	
93/?		セーターからジョイスへ	文藝 春季号	『矩形感覚』
93/?	訳	「丘に向かってひとは並ぶ」など17篇	ヒマラヤ・ライブラリー	
93/?	訳	「新家族」「立切れ」		
94/02	小説	触れる袖	文學界	
94/06	あとがき	犀星に出会う 文庫版あとがきにかえて	ちくま学芸文庫	文庫『室生犀星』
94/08	文庫	『室生犀星』	ちくま学芸文庫	
94/09		女・ことば・宗教	思想の科学	
94/09		浄化された「ひばり伝説」	太陽	
94/10	インタビュー	やわらかいものをやわらかいままで	5日	『富岡多恵子の発言1』
94/12	インタビュー	「病気」のこと	26日	『富岡多恵子の発言3』
95/01	連載小説	「ひべるにあ島紀行」	群像 98/1～97/4	
95/01		『富岡多恵子の発言1 性という情緒』	岩波書店	
95/01		「文学的」おいたち記 その一	岩波書店	『富岡多恵子の発言1』
95/02		『富岡多恵子の発言2 詩よ歌よ』	岩波書店	
95/02		「文学的」おいたち記 その二	岩波書店	『富岡多恵子の発言2』
95/03		『富岡多恵子の発言3 女の表現』	岩波書店	
95/03		「文学的」おいたち記 その三	岩波書店	『富岡多恵子の発言3』
95/04		『富岡多恵子の発言4 闇をやぶる声』	岩波書店	
95/04		「文学的」おいたち記 その四	岩波書店	『富岡多恵子の発言4』
95/05		『富岡多恵子の発言5 物語からどこへ』	岩波書店	
95/05		「文学的」おいたち記 その五	岩波書店	『富岡多恵子の発言5』
95/09	座談会	折口信夫のブラックホール	中央公論	
95/09	文庫	『冥途の家族』	講談社文芸文庫	
95/12	対談	言葉の力(コラボレ・ション・12・)	群像	
95/?	訳詩	詩2篇収録	Copper Canyon Press	
95/?	訳詩	詩3篇収録	Stone Bridge Press	
96/03	対談	「漁色」の構造 - 性欲と快楽をめぐって	文學界	
96/07	座談会	遼空の感愛と悲傷	短歌	
97/03	書評	杉山平一『杉山平一全集<上>』編集工房ノア	朝日新聞 2日	

年月	ジャンル	タイトル	雑誌・出版社	単行本(題名)
97/03	書評	ジャッキー・ヴォルシュレガー(安達まみ訳)『不思議の国をつくる』河出書房新社	朝日新聞 30日	
97/04	書評	ドナルド・リチー(安西徹雄訳)『十二人の賓客』TBSブリタニカ	朝日新聞 27日	
97/05	対談	闇からの歌	群像	
97/05	書評	鶴岡真弓『装飾する魂』平凡社	朝日新聞 25日	
97/05	文庫	『富岡多恵子の好色五人女』わたしの古典16	集英社文庫	
97/06	あとがき	付記	集英社	『大阪センチメンタル』
97/06	書評	庄野潤三『ピアノの音』講談社	朝日新聞 8日	
97/08	エッセイ集	『大阪センチメンタルジャーニー』	集英社	
97/08	あとがき	文庫版へのあとがき 時代という仕事師	ちくま文庫	文庫『男流文学論』
97/09	小説	『ひべるにあ島紀行』	講談社	
97/09	書評	織田久『江戸の極楽とんぼ』無明舎出版	朝日新聞 7日	
97/09	書評	野坂昭如『ひとでなし』中央公論社	朝日新聞 28日	
97/09	文庫	『男流文学論』	ちくま文庫	
97/10	座談会	差別と文学 - 漱石『三四郎』を読み直す	週刊朝日 1日	
97/11	書評	埴谷雄高 松本健一・聞き手『埴谷雄高は最後にこう語った』毎日新聞社	朝日新聞 16日	
98/03	対談	老いの奥行き	週刊朝日 25日	
98/05	連載	釈迦空ノート 第1回	世界	
98/05	文庫	『「とはずがたり」を旅しよう』古典を歩く9	講談社文庫	
98/07	インタビュー	最初の小説について	筑摩書房	『富岡多恵子集2 小説』
98/09	連載	釈迦空ノート 第2回	世界	
98/09	インタビュー	三つの長篇小説	筑摩書房	『富岡多恵子集5 小説』
98/10		『富岡多恵子集2 小説』	筑摩書房	
98/10	インタビュー	歌の足許を浚っていく	筑摩書房	『富岡多恵子集7 評論』
98/11	インタビュー	富岡多恵子さん - 富岡多恵子集(全十巻)	this is 読売	
98/11		『富岡多恵子集5 小説』	筑摩書房	
98/11	対談	詩・小説・批評	ちくま	
98/11	インタビュー	凡人・言葉・境界領域	筑摩書房	『富岡多恵子集3 小説』
98/12		『富岡多恵子集7 評論』	筑摩書房	
98/12	連載	釈迦空ノート 第3回	世界	
98/12	インタビュー	「オンナ革命」の歳月	筑摩書房	『富岡多恵子集8 評論』
99/01		『富岡多恵子集3 小説』	筑摩書房	
99/01	インタビュー	生じたことの苦しみ	筑摩書房	『富岡多恵子集4 小説』
99/02		『富岡多恵子集8 評論』	筑摩書房	
99/02	インタビュー	『返禮』からLP吹込みまで	筑摩書房	『富岡多恵子集1 詩』
99/03	連載	釈迦空ノート 第4回	世界	
99/03		『富岡多恵子集4 小説』	筑摩書房	
99/03	編集	『短歌と日本人4 詩歌と芸能の身体感覚』	岩波書店	
99/03	インタビュー	『室生犀星』と『中勘助の恋』	筑摩書房	『富岡多恵子集9 評論』
99/03		『丘に向かってひとは並ぶ』など	角川書店	
99/04		『富岡多恵子集1 詩』	筑摩書房	
99/04	インタビュー	『逆髪』と『ひべるにあ島紀行』	筑摩書房	『富岡多恵子集6 小説』
99/05		『富岡多恵子集9 評論』	筑摩書房	

年月	ジャンル	タイトル	雑誌・出版社	単行本(題名)
99/05	インタ ビュー	エッセイその他について	筑摩書房	『富岡多恵子集 10 エッセイ』
99/06	連載	釈迦空ノート 第5回	世界	
99/06		『富岡多恵子集6 小説 』	筑摩書房	
99/07		『富岡多恵子集10 エッセイ』	筑摩書房	
99/07	年譜	年譜	筑摩書房	『富岡多恵子集 10 エッセイ』
99/11	対談	大阪という感覚	文學界	